令和６年６月14日
特殊詐欺対策本部

令和６年５月末現在の特殊詐欺被害状況について

１ 特殊詐欺認知・検挙の推移(過去10年)

	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R元年	R2年	R3年	R4年	R5年	5月末	R6年
認知件数	2,311	1,879	2,032	3,510	4,185	3,815	2,896	3,319	3,218	2,918	1,178	1,279
検挙件数	1,072	1,111	1,103	1,388	1,786	2,123	2,274	2,368	2,410	2,539	1,053	763
検挙人員	728	733	552	593	869	814	693	733	803	665	287	253
被害金額	8,001,271,873	6,729,277,329	6,165,889,930	7,978,191,953	8,873,785,806	7,586,188,833	6,341,107,913	6,621,528,504	6,778,441,643	8,148,577,931	2,801,881,024	3,919,663,533

※ H30年からキャッシュカード詐欺盗を含む
※ 印は、最高値を示す

２ 特殊詐欺全体の認知状況

(1) 類型別認知件数

	5月(単月)			5月末(累月)			
	件数	割合	前月比	件数	割合	前年比	増減率
オレオレ詐欺	93	31.6%	-5	377	29.5%	+57	+17.8%
預貯金詐欺	34	11.6%	+4	172	13.4%	-96	-35.8%
架空料金請求詐欺	42	14.3%	-8	187	14.6%	-7	-3.6%
(サポート詐欺)	(25)	(8.5%)	(-6)	(107)	(8.4%)	(-14)	(-11.6%)
還付金詐欺	101	34.4%	+19	384	30.0%	+179	+87.3%
融資保証金詐欺	3	1.0%	±0	8	0.6%	+4	+100.0%
金融商品詐欺	0	0.0%	±0	0	0.0%	-11	-100.0%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	±0	1	0.1%	±0	0
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	0	0.0%	±0	-
その他の特殊詐欺	3	1.0%	-2	12	0.9%	+12	-
キャッシュカード詐欺盗	18	6.1%	+1	138	10.8%	-37	-21.1%
合計	294	100.0%	+9	1,279	100.0%	+101	+8.6%

※ 預貯金詐欺とは、親族、警察官、銀行協会職員等を装い、あなたの口座が犯罪に利用されており、キャッシュカードの交換手続きが必要であるなどの名目で、キャッシュカード、クレジットカード、預貯金通帳等をだまし取る(脅し取る)ものをいう
※ SNS型投資詐欺については、特殊詐欺とは別類型の詐欺とされたことから、金融商品詐欺に計上されていた本年分を除外した。

(2) 類型別被害金額

	5月(単月)			5月末(累月)			
	被害金額	割合	前月比	被害金額	割合	前年比	増減率
オレオレ詐欺	350,779,030	39.4%	-194,554,970	2,064,251,810	52.7%	+928,904,810	+81.8%
預貯金詐欺	34,587,000	3.9%	+9,896,000	159,901,000	4.1%	-105,869,000	-39.8%
架空料金請求詐欺	261,991,600	29.4%	+198,032,810	635,836,344	16.2%	-213,397,129	-25.1%
(サポート詐欺)	(6,305,000)	(0.7%)	(-4,220,000)	(40,413,000)	(1.0%)	(-43,489,301)	(-51.8%)
還付金詐欺	186,503,455	21.0%	+37,217,334	800,595,542	20.4%	+515,342,862	+180.7%
融資保証金詐欺	773,165	0.1%	-1,185,625	13,342,424	0.3%	+7,659,885	+134.8%
金融商品詐欺	0	0.0%	±0	0	0.0%	-51,378,639	-100.0%
ギャンブル詐欺	0	0.0%	±0	28,940,000	0.7%	+26,907,307	+1,323.7%
交際あっせん詐欺	0	0.0%	±0	0	0.0%	±0	-
その他の特殊詐欺	37,973,913	4.3%	+35,028,913	53,248,413	1.4%	+53,248,413	-
キャッシュカード詐欺盗	17,371,000	2.0%	-7,080,000	163,548,000	4.2%	-43,636,000	-21.1%
合計	889,979,163	100.0%	+77,354,462	3,919,663,533	100.0%	+1,117,782,509	+39.9%

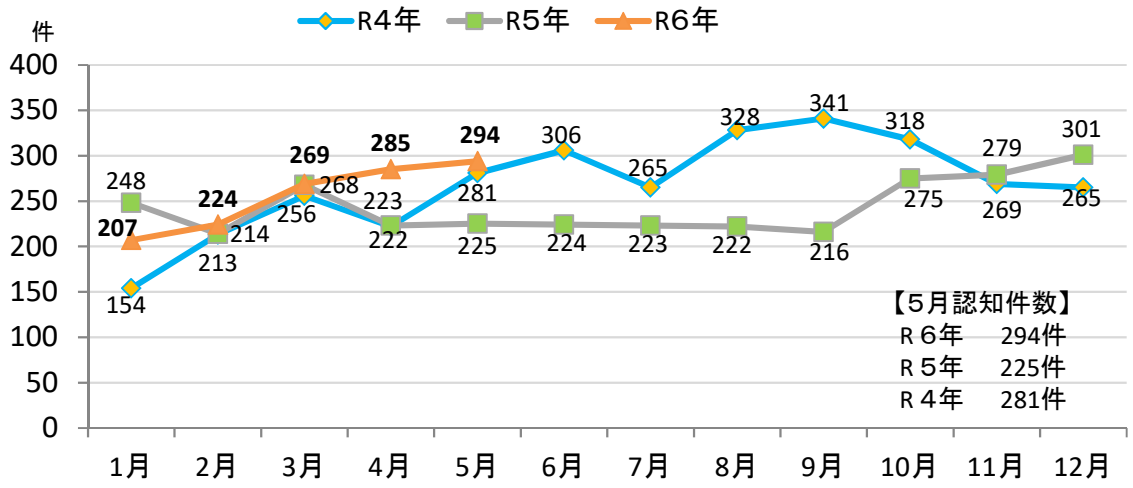
※ 被害金額は、カード手交後の引出金額を含む

(3) 被害者(年代別・男女別)

		20代以下	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代以上	合計	男女別・割合
R6年	男　性	13	12	23	30	128	142	94	11	453	35.4%
	割　合	2.9%	2.6%	5.1%	6.6%	28.3%	31.3%	20.8%	2.4%	100.0%	
	女　性	11	13	17	38	105	221	369	52	826	64.6%
	割　合	1.3%	1.6%	2.1%	4.6%	12.7%	26.8%	44.7%	6.3%	100.0%	
	合　計	**24**	**25**	**40**	**68**	**233**	**363**	**463**	**63**	**1,279**	
	割　合	1.9%	2.0%	3.1%	5.3%	18.2%	28.4%	36.2%	4.9%	100.0%	
	前年比	+13	+15	+17	+19	+107	+70	−137	−3	+101	
R5年	男　性	3	4	11	23	52	88	104	19	304	25.8%
	割　合	1.0%	1.3%	3.6%	7.6%	17.1%	28.9%	34.2%	6.3%	100.0%	
	女　性	8	6	12	26	74	205	496	47	874	74.2%
	割　合	0.9%	0.7%	1.4%	3.0%	8.5%	23.5%	56.8%	5.4%	100.0%	
	合　計	11	10	23	49	126	293	600	66	1,178	
	割　合	0.9%	0.8%	2.0%	4.2%	10.7%	24.9%	50.9%	5.6%	100.0%	

○　被害者は、70代以上が約70%、男女別では女性が約65%である。

(4)　認知件数の月別推移



(5) 類型別高額被害(1,000万円以上、5月末現在)

	5月末（累月）			
	件　数	前年比	被害額	前年比
オレオレ詐欺	**46**	+26	1,281,843,030	+733,553,030
預貯金詐欺	**1**	±0	10,947,000	+947,000
架空料金請求詐欺	**14**	−2	510,651,900	−208,724,602
還付金詐欺	**9**	+9	137,496,128	+137,496,128
融資保証金詐欺	**1**	+1	10,210,469	+10,210,469
金融商品詐欺	**0**	−2	0	−40,165,659
ギャンブル詐欺	**1**	+1	28,940,000	+28,940,000
交際あっせん詐欺	**0**	±0	0	±0
その他の特殊詐欺	**1**	+1	36,989,281	+36,989,281
キャッシュカード詐欺盗	**0**	±0	0	±0
合　　計	**73**	+34	**2,017,077,808**	+699,245,647

○　1,000万円以上の高額被害　～ 73件、 合計 約20億1,708万円 (5月末累計)
特殊詐欺総被害額の約51.5%を占める。

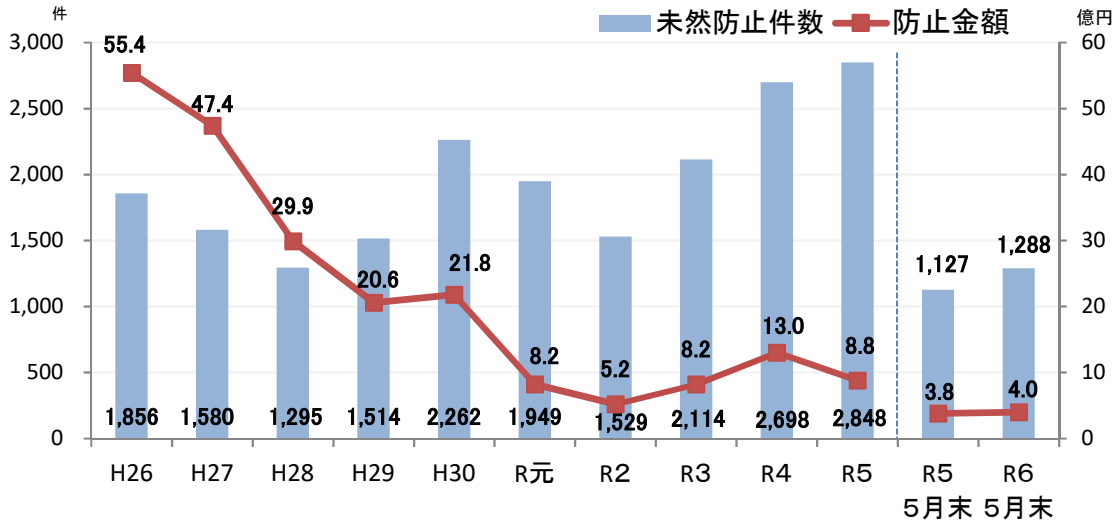
3　検挙状況(5月末現在)
特殊詐欺全体の検挙件数及び検挙人員

検挙件数　763件　(前年比　−290件、 −27.5%)
　　(内　現場設定検挙　17件　(前年比　−17件、 −50.0%))
検挙人員　253人　(前年比　−33人、 −11.5%)
　　(内　現場設定検挙　18人　(前年比　−13人、 −41.9%))

4　未然防止の状況

(1)　全体の未然防止状況

未 然 防 止 の 推 移（過去10年）



※　未然防止件数及び被害防止金額　～ 1,288件、 合計 約4億147万円（5月末累計）

(2)　職種別の未然防止状況

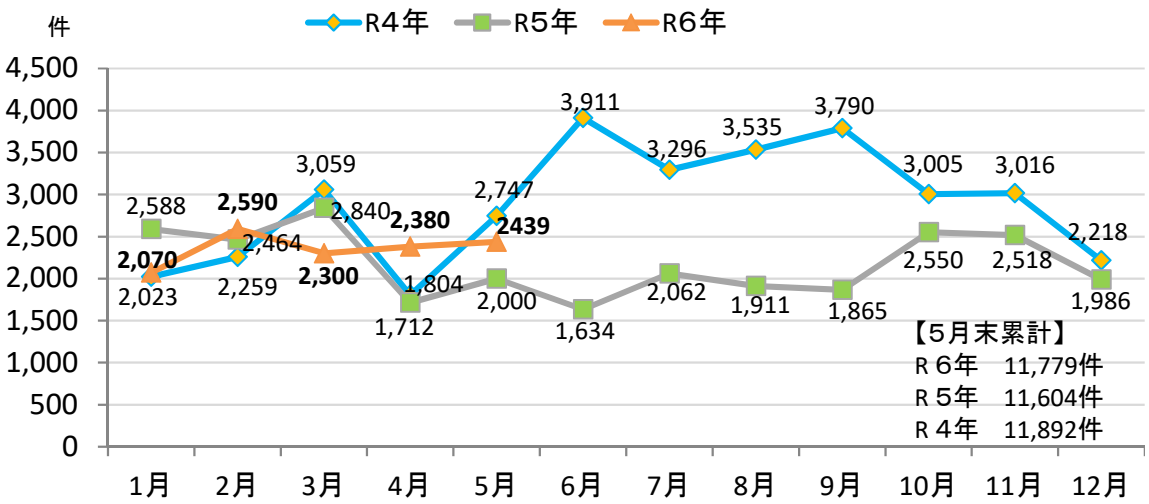
	金融機関職員	警察関係	電話センター	コンビニ店員	業務中の一般人					業務外の一般人	合計
					警備員	介護職員	タクシー運転手	配送業	その他		
R6年（5月末）	**266**	**54**	**60**	**715**	**5**	**8**	**5**	**2**	**40**	**133**	**1,288**
割　合	20.7%	4.2%	4.7%	55.5%	0.4%	0.6%	0.4%	0.2%	3.1%	10.3%	100.0%
前年比	+74	+1	−35	+75	+2	−8	+2	−1	+16	+35	+161
増減率	+38.5%	+1.9%	−36.8%	+11.7%	+66.7%	−50.0%	+66.7%	−33.3%	+66.7%	+35.7%	+14.3%
R5年（5月末）	192	53	95	640	3	16	3	3	24	98	1,127

○　コンビニと金融機関による未然防止が、全体の約76%を占めている。

※　業務外の一般人とは、ATM利用者や友人、知人等を示す。

5　犯行予兆電話の状況

(1)　月別の通報状況（R４年～R６年５月末）



(2)　欺罔者別の状況

	区市役所	警察官	百貨店家電量販店	親　族	金融機関	その他不明	合計
R6年（5月末）	**5,149**	**1,145**	**330**	**1,615**	**129**	**3,411**	**11,779**
割　合	43.7%	9.7%	2.8%	13.7%	1.1%	29.0%	100.0%
前年比	+661	−802	−229	−1,562	−394	+2,501	+175
増減率	+14.7%	−41.2%	−41.0%	−49.2%	−75.3%	+274.8%	+1.5%
R5年（5月末）	4,488	1,947	559	3,177	523	910	**11,604**
割　合	38.7%	16.8%	4.8%	27.4%	4.5%	7.8%	100.0%

※　最初に騙った職業を計上

６　都民に対する注意喚起

警察官や検察官になりすまし、架空の事件に巻き込み、銀行口座を調査する名目で、犯人の管理する口座に現金を振り込ませる被害が増加しています。

○　携帯電話に多くかかってくる詐欺の電話です。20代から高齢者まで様々な年代で被害者が出ています。

○　不安をあおる電話を疑いましょう！

通信事業者（NTT等）、警察官、検察官等になりすまして、架空のトラブルに巻き込み、不安をあおり、未払い料金、保証金、口座調査、保釈金等の名目で現金等をだまし取ります。

○　「あなた本当に警察官？」、必ず最寄りの警察署に確認を！

警視庁や他府県の警察官を騙る電話や来訪があった場合は、相手に、「所属、担当部署、氏名、内線番号」を確認し、最寄りの警察署に確認して下さい。そのためにも、自宅を管轄する警察署の電話番号を把握しましょう。
同様に、市役所、区役所、金融庁、検察官等の電話があった場合も、警察署に確認しましょう。

○　警察官が通信アプリを利用して、被害者や犯人とやりとりすることはありません！

通信アプリで、警察手帳や身分証や逮捕状等の令状を提示することもありません。

○　騙されなくてもイヤな電話、とらないですむように携帯電話の対策を！

令和６年６月14日
特殊詐欺対策本部

ＳＮＳ型投資・ロマンス詐欺の被害状況について

１ 認知件数・被害金額（令和6年4月末累計）

	SNS型投資	SNS型ロマンス	合計
認知件数	212	37	249
被害金額	4,812,461,000	460,098,000	5,272,559,000

○ 1億円以上の被害 ～ SNS型投資詐欺 8件、 合計 約14億5,445万円 （4月末累計）

２ 主な手口

【ＳＮＳ型投資詐欺】

SNS等を通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、投資金名目やその利益の出金手数料名目などで金銭等をだまし取る詐欺（SNS型ロマンス詐欺に該当するものを除く。）

手口例

・ インスタグラムやフェイスブックなどのＳＮＳ上に、投資家や著名人を騙り「投資で稼げる」などの広告を掲載

⇩

・ 被害者が広告をクリックすると、ＬＩＮＥに誘導し、トークグループに招待する

⇩

・ 指南役やアシスタント役を装い、投資の取引に必要との名目でアプリをインストールさせ、被疑者側の口座を指定して入金させる

⇩

・ アプリ上ではあたかも利益が出ているかのように見せ、さらに追加入金させる

⇩

・ 被害者が出金しようとすると「手数料」が必要などと理由をつけて追加入金させた後、連絡を絶ち、現金をだまし取る

【ＳＮＳ型ロマンス詐欺】

SNS等を通じて対面することなく、交信を重ねるなどして関係を深めて信用させ、恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取る詐欺

手口例

・ 海外居住者や外国人などを騙り、マッチングアプリやＳＮＳで被害者と接触し、ＬＩＮＥのトークに誘導

⇩

・ トーク上で関係性を深めた上で恋愛感情や親近感を抱かせる

⇩

・ 「一緒に生活するための資金を作るために投資を行おう」などと投資に興味を持たせ、ＳＮＳ型投資詐欺と同様にアプリをインストールさせるなどの手口で投資名目で現金をだまし取ったり、「荷物や資金を送るのに費用が必要」などとその他の名目で現金をだまし取る

３　都民に対する注意喚起

SNS型投資詐欺に注意！

犯人らは、SNSで著名人の名前や･写真を悪用し、「投資で儲かる」「投資スクール」等と嘘の投稿をしています。

犯人らは、被害者の「この著名人であれば、信用できる」「投資で儲けたい」等の心理につけ込み、あたかも利益が出ているように信じさせ、投資金名目やその利益の出金手数料名目などで金銭等をだまし取ります。

○　インターネットの情報やＳＮＳの投稿、ダイレクトメッセージをまったく疑わずに信じることは危険です！

○　投資を始めとする各種情報にすぐに飛びつくことなく、その情報についてよく調べる、身近な人に相談するなどの防御する術を身につけましょう！

○　不安に感じることがあれば、遠慮することなく警察に相談しましょう！